

実質化された人・農地プラン

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
湯沢市	須川・高松地区	令和3年3月24日	令和4年3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	592 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	394 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	157 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	51 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	52 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	274.9 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

・アンケート調査等に回答した地区内における70歳以上の農業者の耕作面積のうち、約66%が後継者未定もしくは不明の農地であることから、これらの農地をどのように中心経営体へ集積・集約を図っていくかが課題である。

・米だけでなく野菜や果樹を含めた複合経営が多いことから、個々の作業面積があまり大きくなく、集約を進めるにしても果樹や野菜に関しては人手がかかる。

・排水が悪い圃場が多く、畑作に転換しにくい。

・賃貸借料(小作料)に幅がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区の農地利用については、中心経営体となる認定農業者が担うほか、認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。引き受けが難しい場合には、地区外の認定農業者等の受入れも含めて対応する。